

令和5年度漁業担い手満足度調査報告書の概要

令和6年11月
岩手県農林水産部
水産振興課

1 調査の概要

- 調査目的** 本県における「なりわい」としての漁業の魅力について、漁業者の満足度を指標として定量化するとともに、満足度に影響を与える要因を分析し、就業環境の改善などの漁業担い手対策の参考とするもの。
- 調査対象者** ①岩手県漁業士82名（青年漁業士16名、指導漁業士66名） ②若手漁業者95名（着業10年未満の漁業者）
- 調査方法** 設問票及びWebによるアンケート調査（総合満足度及び個別満足度30項目）
- 対象期間** 令和4年11月～令和5年10月
- 実施時期** 令和5年10月～令和5年11月
- 有効回答数** ①岩手県漁業士47名（回収率57.3%） ②若手漁業者24名（回収率25.3%）
- 総合満足度** 総合満足度は、「非常に満足」、「満足」、「やや満足」、「ふつう」、「やや不満」、「不満」、「非常に不満」の7段階評価とし、それぞれ「3点」から「-3点」までの1点刻みで数値化して分析した。
- 個別満足度** 項目ごとに、「そう思う」、「まあ思う」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の4段階で評価し、それぞれ「4点」から「1点」までの1点刻みで数値化して分析
- 総合満足度の構造分析**
総合満足度と個別満足度の関係を分析するため、満足度（個別項目でまあ思う以上の割合）と重要度（個別項目のうち、どの項目が総合満足度に影響を与えているか）を算出し、改善度として優先して改善すべき項目を数値化して分析（改善度については、『課題項目』（重要改善分野）のうち、正の数値が大きいほど優先して改善すべきものとなる）

2 総合満足度の推移

- 回答者全体**
・今回の調査では、回答者数71人全てが有効回答であり、総合満足度は0.44点と令和4年度よりも上昇しましたが、過去3番目に低い数値となりました（図1）。
- 漁業種類別**
・漁業種類別の総合満足度は、漁船漁業が0.10点、養殖業が0.56点、採介藻漁業が0.18点となり、漁船漁業と採介藻漁業は前回の調査と比べて上昇しましたが、養殖業は前回の調査と比べて低下しました（図2）。

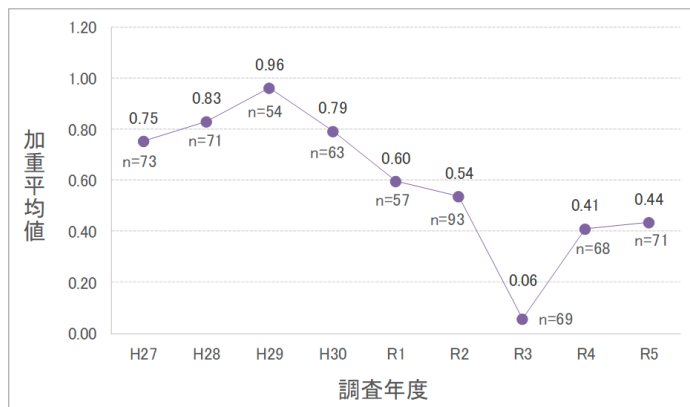


図1 回答者全体の総合満足度の推移 (n: 有効回答者数)

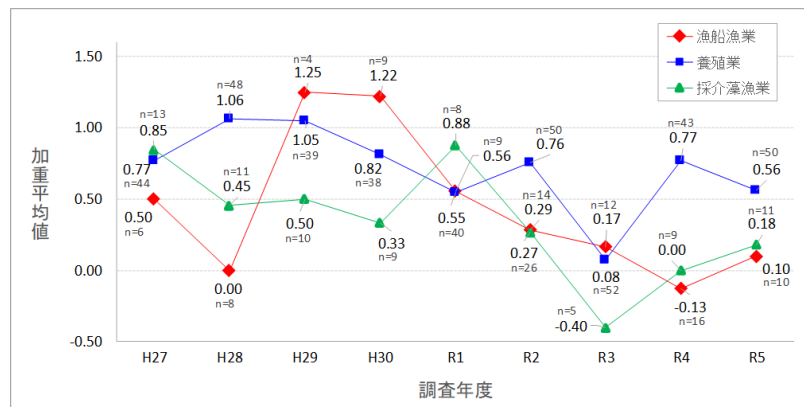
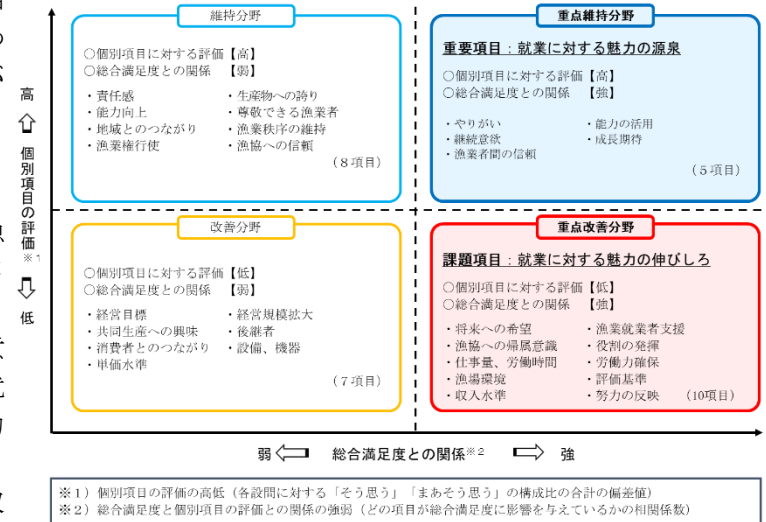


図2 漁業種類別の総合満足度の推移 (n: 有効回答者数)

3 総合満足度の構造分析

- 個別満足度の評価項目（30項目）について、総合満足度との相関係数で評価し、『重要項目』（総合満足度と関係が強く、かつ個別満足度の高い項目）と、『課題項目』（総合満足度と関係が強いものの、個別満足度の低い項目）に定義しました。
- 『重要項目』… 就業に対する魅力の源泉
- 『課題項目』… 就業に対する魅力の伸びしろ
- 今回の調査では、『重要項目』に「やりがい」、「継続意欲」、「漁業者間の信頼」、「能力の活用」、「成長期待」の5項目が分類されました。
- また、『課題項目』として、「将来への希望」、「漁協への帰属意識」、「仕事量・労働時間」、「漁場環境」、「収入水準」、「漁業就業者支援」、「役割の発揮」、「労働力確保」、「評価基準」、「努力の反映」の10項目が分類されました（図3）。
- 改善度を分析したところ、「漁業就業者支援」、「漁場環境」、「収入水準」の順で改善度が高く、優先的に改善が求められています。



4 漁業種類別の個別満足度の分析

- 養殖業**
・重要項目として「やりがい」や「将来への希望」を含む6項目、課題項目として「漁業就業者支援」を含む9項目となりました。課題項目のうち、改善の優先順位が高い順に、「収入水準」、「労働力」、「漁場環境」となっています。
- 漁船漁業**
・重要項目として「やりがい」や「成長期待」を含む6項目、課題項目は「将来への希望」を含む11項目となりました。課題項目のうち、改善の優先順位が高い順に、「漁業就業者支援」、「評価基準」、「漁場環境」となっています。
- 採介藻漁業**
・重要項目として「能力の活用」や「継続意欲」を含む10項目、課題項目として「計目標」を含む8項目となりました。課題項目のうち、改善の優先順位が高い順に、「消費者とのつながり」、「経営規模拡大」、「役割の発揮」となっています。

表 個別満足度評価表（漁業種類別）

要因区分	項目	漁業種類					
		養殖業	漁船漁業	採介藻漁業			
		重要・課題	改善度	重要・課題	改善度	重要・課題	改善度
仕事	やりがい	◎	-1.50	◎	-5.51	■	-3.81
	将来への希望	◎	5.74	■	7.49	■	9.05
	責任感		-10.28		-6.34		-8.66
	能力の活用	◎	-0.82		-12.02	◎	0.10
	生産物への誇り		-12.29		-6.82		-11.01
自己の成長	継続意欲	◎	-2.53		-18.83	◎	-0.81
	成長期待	◎	-2.03	◎	2.34	◎	1.67
経営目標	能力向上		-6.54	◎	-6.01		-10.28
	経営目標	◎	2.05		-16.54	■	5.80
	経営規模拡大		-2.79		-5.62	■	10.68
	共同生産への興味		-0.67		-9.28		-9.38
	後継者		2.59		-0.14		9.53
他の漁業者との関係	尊敬できる漁業者		-7.56		-2.69	◎	0.54
	漁業者間の信頼		-10.04	■	3.53	◎	0.54
地域住民や消費者との関係	漁業就業者支援	■	9.86	■	14.29	■	9.39
	地域とのつながり		-11.97	◎	0.25		-15.41
漁協との関係	消費者とのつながり		-2.29		-1.09	■	16.68
	漁協への帰属意識	■	6.23		3.29		-1.49
	漁業秩序の維持		-14.51	◎	-2.48	◎	-0.86
	漁業権行使		-6.47	◎	-1.23	◎	-3.51
	漁協への信頼		-7.34		6.59	◎	-0.59
労働条件	役割の発揮	■	6.89	■	9.82	■	10.00
	仕事量・労働時間	■	6.38	■	10.96		-11.30
	労働力確保	■	13.87		-1.25	◎	-0.37
	設備・機器		1.50		-7.02	◎	1.57
	漁場環境	■	12.91	■	12.83	■	7.02
収入	単価水準		3.21	■	8.21		-0.55
	評価基準	■	6.67	■	13.11	■	2.13
	収入水準	■	13.98	■	9.24		-0.56
	努力の反映	■	7.58	■	9.15		-6.56

※ 漁業種類ごとの構造分析として、総合満足度との相関係数で評価し、総合満足度と関係が強く、かつ個別満足度の高い項目を「重要項目◎」、総合満足度と関係が強いが、個別満足度の低い項目を「課題項目■」としている。
また、個別項目の改善すべき優先順位を判断するため、改善度を算出し、優先度上位3項目を赤字で記載している。

まとめ

令和5年度の総合満足度は令和4年度に比べ上昇していますが、長期的な視点では、平成29年度をピークに低下傾向にあります。総合満足度の構造分析では、就業に対する魅力である「重要項目」の項目数が減少し、就業に対する伸びしろである「課題項目」の項目数が増加する傾向にあり、「課題項目」の中でも、「漁業就業者支援」、「漁場環境」、「収入水準」の順で、優先的に改善が求められています。

このため、県では、「いわて県民計画（2019～2028）」第2期アクションプランの分野別計画として、令和5年3月に「岩手県漁業担い手育成ビジョン（令和5～8年度）」を策定し、市町村や漁協、漁業関係団体と連携しながら、次代を担う意欲ある新規漁業就業者の確保・育成と地域漁業の中核となる強い漁業経営体の育成を推進し、漁業者の満足度の向上とともに、「なりわい」としての漁業の魅力の向上を図っていきます。